

戦後復興の道筋をつけた首相・吉田茂

吉田茂 明治 11 年（1878）～昭和 42 年（1967）

東京生まれ。明治から昭和戦前期にかけて外交官として、中国・ヨーロッパを巡る。また、戦後は外務大臣、内閣総理大臣を歴任。

吉田は昭和 20 年代から 30 年代にかけて長らく内閣総理大臣をつとめた人物です。第二次世界大戦後、連合国総司令部（GHQ）の占領下において、戦後の復興を担うとともに、教育や農地改革など様々な分野での改革を進めました。さらに、サンフランシスコ講和条約締結による日本の国際社会への復帰といった、現在に至る日本の基礎を築きました。



▲吉田茂

吉田茂と大磯

吉田と大磯には深い関わりがあります。明治 17 年（1884）吉田の養父であった横浜の豪商・吉田健三は大磯に土地を購入し、別荘を建てました。大磯の別荘文化の先駆けといえます。当時まだ幼かった吉田も、この頃より大磯を訪れ、この土地に親しむようになりました。吉田は健三の死後、莫大な財産のひとつとして大磯の家を受け継ぎます。

昭和 20 年（1945）には大磯を本邸と定め、内閣総理大臣退任後は大磯に隠棲しました。隠棲したあとも、吉田を訪れる人々は途切れることなく、その様子から「大磯詣」という言葉も生まれました。晩年、大磯の自宅から富士山を眺めることを非常に好んだ吉田は、その最期を大磯で迎えました。



▲サンフランシスコ講和条約調印（昭和 26 年）
アメリカ・サンフランシスコ講和会議にて。
吉田は講和条約を記念して、大磯の自宅に「^{かぶと}兜門」を建てました。

旧吉田茂邸利用案内

観覧料

大人 500 円（450 円） 中・高校生 200 円（150 円）

小学生以下 無料

＊カッコ内は 20 名以上の団体料金

＊障がい者とその介護者 1 名は無料。障がい者手帳を提示してください。

＊中・高校生は学生証を提示してください。

開館時間

9 時～16 時 30 分（入館は 16 時まで）

休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の時は翌日火曜が休館）、毎月 1 日、年末年始（12 月 29 日～1 月 4 日）

＊休館日であっても、全館貸出等の利用が可能です。

問・申

郷土資料館 ☎(61) 4700

旧吉田茂邸 ☎(61) 4777

所在

〒255-0005

大磯町西小磯 418（県立大磯城山公園内）

アクセス

バス：「二宮駅行」「国府津駅行」「湘南大磯住宅行」

城山公園前下車徒歩 5 分

車：国道 1 号線沿い「城山公園交差点」よりすぐ

＊県立大磯城山公園内に駐車場があります。

